

図書館だより



ほんとも

2024年2月発行 No.56

ずいぶん日が長くなりましたね。図書館では児童向け・一般向けの楽しい企画を用意しています。是非、ご参加ください。

名寄図書館本館 特別整理日のお知らせ



2/26 (月) ~ 2/29 (木) は蔵書点検のため、休館となります。

行事スケジュール

名寄図書館本館

ぬいぐるみお泊り会

2/17(土) AM10:00

絵本読み聞かせ



図書館でお泊り会



お迎え（絵本を選んで待ってるよ!）



受付：2/1（木）～10（土） 定員：15名 対象：どなたでも

おとなのための読み聞かせ会

3/9(土) AM10:30

対象：一般（30席用意）

内容：絵本読み聞かせ

紙芝居

ストーリーテリング

※参加申込不要



申込：☎01654-2-4751 又は名寄図書館カウンター

通年行事

* 2/23 (金) の通年行事は休みとなります。



名寄本館	
ペンギンクラブ	3歳未満
第1・第3木曜日	10:30~11:15
金ようおはなしクラブ	
	3歳以上~小学生
毎週金曜日	15:30~16:15
土曜ビブリオトーク	一般向け
第2土曜日	13:00~14:00

風連分室	
おはなしポケット	3歳未満
毎月最終火曜日	11:20~11:25
風連子育て支援センター「こぐま」	
おはなしタイム	
	3歳以上~小学生
第1・第3木曜日	15:15~15:30
風連児童会館	

※イベントは変更や中止になる場合があります。HPやX(旧Twitter)でご確認ください。



図書館員おすすめの1冊



『不可能を可能にする』

大谷翔平 120の思考』

大谷翔平//著 ぴあ株式会社

2017年 H783.7/オ 本館所蔵

赤いユニフォームから青いユニフォームへ。

新シーズンからドジャースの背番号17番となる大谷翔平。

最も優れた打者として2023年度の「ハンク・アーロン賞」も受賞し、次々と球史を塗り替え続ける彼の成功の秘訣と原点が日本ハムファイターズ時代に出版されたこの本から見えてくる。

カラー写真もふんだんに使われ、どこから読んでもかっこいい！(S)



第170回芥川賞・直木賞

第170回芥川賞は九段理江さんの作品に決まりました。また、直木賞は万城目学さん、河崎秋子さんのダブル受賞となりました。

芥川賞候補	著者	出版社	所蔵館
迷彩色の男	安堂ホセ	河出書房新社	本館
B l u e	川野芽生	集英社	納品予定
猿の戴冠式	小砂川チト	講談社	納品予定
東京都同情塔 受賞	九段理江	新潮社	納品予定
アイスネルワイゼン	三木三奈	文藝春秋	納品予定

直木賞候補	著者	出版社	所蔵館
なれのはて	加藤シゲアキ	講談社	本館
ともぐい 受賞	河崎秋子	新潮社	本館
櫻がけの二人	嶋津輝	文藝春秋	本館
八月の御所グラウンド 受賞	万城目学	文藝春秋	本館
ラウリ・クースクを探して	宮内悠介	朝日新聞出版	本館
まいまいつぶろ	村木嵐	幻冬舎	本館

冬休み企画・行事開催報告



風連分室 1/10(水)冬休みの工作

『毛糸まきまき小物入れ』牛乳パックにカラフルな毛糸を巻き付けて素敵な小物入れを作りました！

名寄本館 1/11(木)一日司書体験

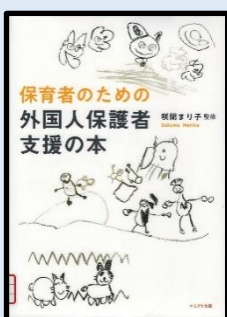
カウンターでは本の貸出・返却。
検索用のパソコンを使って調べもの
と、図書館のお仕事を体験しました。



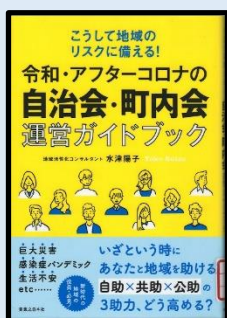
ちょっと気になる話題

人口減少による人材不足が課題になっている中、現在名寄市ではネパール出身の女性3名が介護職に従事しています。行政サービス・生活に関するトラブル対応など彼らを支援する内容は多々あります。より良い共生社会実現のため市民レベルでできる支援もありそうです。具体的な資料が少ないのですが参考までに紹介します。

(文化庁ホームページでは『在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン』が紹介されています。)



『保育者のための外国人保護者支援の本』
咲間まり子//監修 かもがわ出版 376/ホ 2020年
外国人保護者支援の考え方とノウハウをわかりやすく解説した本ですがコミュニケーションのための情報が収録されています。「やさしい日本語」で伝えるコツ・翻訳ツール・参考になるWebサイトの紹介があります。



『令和・アフターコロナの自治会・町内会運営ガイドブック』
水津陽子//著 実業之日本社 318/ス 2020年
巨大災害、感染症パンデミック、生活不安…いざという時に「自助・共助・公助」の連携が不可欠。外国人との多文化共生まちづくりで、愛知県豊橋市の事例が取り上げられています。

利用者さんからの声

ツンドク第19号でも掲載しました。

「図書館は「知」の宝庫」

難読・難問に直面し、図書館でレファレンスを乞うことが続きました。そこで感服したのは、司書さんの「調べる力」です。いろんな方向から、一つずつたどっていく根気強さ。小さな糸口から次のひらめきが生まれ、想像力と洞察力が総動員され、答えに近づいていく機知。ほれほれとしました。図書館は「知」の宝庫といわれますが、まさに、その宝は「司書」という「人」なのだなあと痛感したのでした。(利用者K)



発行：市立名寄図書館

名寄市大通南2丁目 TEL2-4751



(=旧 Twitter)

@nayoro_library

